

令和5（2023）年度事業報告書

I 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 法人概要

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

この法人は、持続性可能な社会、すなわち脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現するため、市民・事業者・行政・教育機関と連携を強め、広く環境保全活動を推進することにより、環境に配慮した市民の自主的な行動による地域社会づくりに寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

2001年2月14日

イ 基本財産

金 52,363,000 円

ウ 実施事業

- (ア) 環境意識の普及、啓発に関する事業
- (イ) 環境情報の発信事業
- (ウ) 環境保全に関する調査、研究に関する事業
- (エ) 環境教育及び人材育成に関する事業
- (オ) 環境保全のための市民、事業者等との連携、支援に関する事業
- (カ) 環境意識の向上のための国際的な連携、支援に関する事業
- (キ) 環境保全活動に関する施設の管理運営
- (ク) その他、この法人の公益目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況（2024年3月31日現在）

(1) 役員等の数

理事長 1 人 専務理事 1 人 理事 9 人 監事 2 人 評議員 9 人

(2) 役員等名簿

ア 役員名簿

（敬称略・順不同）

役職	氏名	備考
理事長	新川 達郎	同志社大学名誉教授
専務理事	辻 智之	公益財団法人国立京都国際会館総合戦略広報監
理事	佐々木 亮太	京都市環境政策局地球温暖化対策室エネルギー政策部長
〃	杵本 育生	特定非営利活動法人環境市民代表理事
〃	田浦 健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク事務局長
〃	高野 拓樹	京都光華女子大学学長特別補佐 教授

理事	中田富士男	京都市ごみ減量推進会議会長
〃	橋本直子	株式会社 Hibana 代表取締役
〃	花田真理子	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所客員研究員
〃	原強	京都循環経済研究所所長
〃	久山喜久雄	フィールドソサイエティ代表
監事	野村克章	税理士
〃	水口重忠	元京都市伏見区長

イ 評議員名簿

(敬称略・順不同)

役職	氏名	備考
評議員	市川智史	滋賀大学環境総合研究センター長
〃	遠藤一平	前京都青年会議所副理事長
〃	周瑋生	立命館大学政策科学部教授
〃	田中克	京都大学名誉教授
〃	永橋爲介	立命館大学産業社会学部教授
〃	西本清一	公益財団法人京都高度技術研究所理事長
〃	南山泰宏	京都教育大学環境教育実践センター教授
〃	村上圭子	公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー専務理事
〃	森田淳	前株式会社京都銀行公務・地域連携部観光地域活性化室長

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

	開催日	審議事項	結果
第50回	2023年 5月5日	<書面決議> 議第1号 第16回評議員会の招集について	承認
第51回	2023年 5月22日	代表理事及び業務執行理事の職務状況について 議第1号 令和4年(2022年)度事業報告書(案) 議第2号 令和4年度決算報告書(案) 議第3号 「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」(案) 報告事項 寄付金の取り扱いについて	承認 承認 承認
第52回	2023年 7月27日	<書面決議> 議第1号 理事の利益相反取引に係る承認の件	承認

第53回	2023年 10月11日	<書面決議> 議第1号 理事の利益相反取引に係る承認の件	承認
第54回	2024年 3月27日	報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務状況について 報第1号 令和5年度（4月～1月）事業報告 報第2号 令和5年度決算見込み 報第3号 使用人兼理事への就任について 報第4号 事務局組織の改編について 議第1号 令和6年度事業計画書（案） 議第2号 令和6年度予算書（案） 議第3号 評議員会の招集について（案） 議第4号 事務局長の任用について（案）	承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

	開催日	審 議 事 項	結果
第16回	2023年 5月14日	<書面決議> 議第1号 理事1名の選任	承認
第17回	2023年 6月13日	報告事項 令和4（2022）年度事業報告書 議第1号 令和4（2022）年度決算報告書（案） 議第2号 評議員の選任について（案）	承認 承認

4 職員数（2024年3月31日現在）

理 事 長	専 務 理 事	事 務 局										合 計
		事 務 局 長	経 営 改 革 監	次 長	室 長	課 長	室 長 補 佐	職 員	再 雇 用 職 員	非 常 勤 職 員	臨 時 職 員	
1	1	1	2	2	3(2)	2	6	11	1	4	6	38

※次長2人は室長事務取扱としている。（室長欄（ ）内が事務取扱）

II 令和5（2023）年度実施事業内容（主な実績）

（詳細を6ページ以降に記す）

I 公益目的事業

※（ ）内4桁数字は協会事業番号

【1】環境保全活動拠点事業

1 京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務

- (1) 環境の保全に関する活動のための施設の提供(1111)
- (2) 環境の保全に関する資料及び装置の展示(1121)
- (3) 環境の保全に関する情報の収集及び提供(1131)
- (4) 環境副読本発行(1142)
- (5) ホームページ等による情報発信(1144)
- (6) 各種講座や講演会の企画と実施(1145)
- (7) 環境保全促進のための研究、調査等(1146)
- (8) 環境ボランティアの育成(1147)
- (9) 環境保全活動に関わる人材の育成(1148)
- (10) 海外との交流(1149)
- (11) 大学生の環境活動支援(1150)
- (12) アウトリーチ（センター外での実施）(1151)

2 さすてな京都（南部クリーンセンター環境学習施設）運営業務(2101) ※受託事業

【2】国際事業 ※受託事業

1 JICA事業

- (1) 課題別研修（脱炭素で持続可能な都市・地域開発のための自治体能力強化）(1201)
 - (2) 草の根事業「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」(1202)
 - (3) 技術協力プロジェクト「インド国ヴァラナシ市衛生改善プロジェクト」支援業務(1206)
- ##### 2 その他国際事業（調査、案件形成等）(1205)

【3】地域環境活動支援事業 ※受託事業

- 1 「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援事業(1301)
- 2 京都発脱炭素ライフスタイル推進に係るプロジェクト創出及び実証支援等業務
 - (1) 企業等連携プロジェクトの創出及び実証支援事業(1304)
 - (2) 市民ワークショップ等の開催(1305)
 - (3) 市民ライター育成事業(1306)
- 3 住宅の再エネ地産地消・地域循環推進事業(1307)
- 4 京都0円ソーラープラットフォーム
 - (1) 住宅向け0円ソーラー(1503)

(2) 太陽光発電プラットフォーム事業(1504)

5 ごみ減量推進事業

(1) 普及啓発(1621)

(2) ごみ減量事業化(1622)

(3) 地域活動(1623)

(4) 2R型エコタウン構築事業(1624)

【4】講師派遣事業 ※自主事業

講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）(1401)

【5】調査・研究・開発・発信事業 ※自主事業

1 脱炭素の見える化(1309)

2 調査・研究・開発・発信(1501)

3 自主財源創出プロジェクト(1513)

4 きょうと環境活動応援事業(1521)

5 ごみ減量推進事業 会費等を活用した自主事業(1625)

6 京のアジェンダ21フォーラム事業

(1) 観光のエコ化の推進(1704)

(2) 会費等を活用した自主事業(1708)

(3) わきの山の利活用(1709)

II 収益事業

貸会場運営事業(5101)

III その他事業（相互扶助等事業）

秘密書類リサイクル事業(6101)

IV 附属明細書

I 公益目的事業

2019年末からコロナ禍として猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行したことも踏まえ、入館者数や事業実施件数は、令和4年度を上回る実績となりました。

とりわけ、京エコロジーセンター（以下、「当センター」という。）に海外から団体見学に来られる件数・人数は昨年度を上回っており、順調に回復基調にあることがうかがえます。

また、令和5年度は、国連気候変動枠組条約第28回締約国会議（COP28）が開催され、化石燃料からの脱却、2050年ネットゼロ達成のためにこの重要な10年のうちに行動を加速させることを確認するなど、大きな転換を宣言する年となりました。

「地球沸騰化」ともいわれる昨今、事業活動さらに生物の生存を脅かす気候危機への対応は、待ったなしの状況にあります。

このような中、指定管理業務におきましては、当センターへ来館される方への取組はもとより、巡回展示や出前講座のほかセンター外イベント・ブース出展を増加することで、環境保全活動に関心の薄い方に対する意識変容を促進する取組も強化するとともに、研究・調査分野では、脱炭素ライフスタイル行動の効果測定の手法として、ソーシャルインパクトの活用について研究、調査を進めるため、京都市とロジックモデルの検討を行いました。

受託事業におきましても、エコ学区、脱炭素ライフスタイル推進に係る企業連携によるプロジェクト創出支援、住宅の再エネ地産地消・地域循環推進事業、ごみ減量推進事業、国際事業の他さすてな京都運營業務等に引き続き取り組むことで、多様な主体との連携と協働により事業を推進しました。

さらに、協会が設置する基本構想推進委員会・小委員会において、協会使命の一つである人材育成のあり方をはじめ環境保全を総合的に推進するための議論・検討を行いました。引き続き、令和6年度も議論を継続し、2050年ネットゼロ達成に向け、ひと・しくみづくりの強化に努めます。

【1】環境保全活動拠点事業

指定管理業務の評価指標として、以下の4項目を設定しました。

- 1 来館者アンケートにおいて「自宅や学校、職場、地域等で取り組みそうなことがあった」と回答された方の割合：95%
- 2 協会が実施する環境保全活動プログラムへの参加者数：8,000人
- 3 2のうち、センター外でのプログラムへの参加者数：3,000人
- 4 エコメイト、エコサポーター年度末登録者数：それぞれ75人、180人

1については、86%と僅かに及んでいませんが、2については、12,813人と大きく上回っています。3についても3,500人と目標を達成しています。4については、エコメイトで73人と僅かに及んでいませんが、エコサポーターで192人の登録を維持しています。

1 京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）指定管理業務

館内で実施するイベントや利用をコロナ禍前の状態に戻せたことや、海外からの団体視察の回復などもあり、入館者数も団体見学の数も順調に増え、前年度比で114%となりました。

令和5年度（前年度比）	令和4年度
79,712人（114%）	69,765人



(1) 環境の保全に関する活動のための施設の提供(1111)

(2) 環境の保全に関する資料及び装置の展示(1121)

ア 共同主催型企画展

市民・事業者等と共催で環境保全活動のための企画展を11件実施しました。10月8日～12月1日に開催した企画展では、立命館宇治高校IBコースのカリキュラムの中での取組について紹介するとともに、その成果となる制作物を展示しました。

開催期間	タイトル（共催団体等）
4/28～5/24	世界のこども環境絵画展 （花王グループカスタマーマーケティング㈱・花王国際絵画コンテスト貸出し事務局）
7/15～8/29	小・中学生や高校生、大学生も受賞！京都環境賞受賞者の活動紹介パネル展 （京都市環境政策局環境企画部環境管理課）
8/9～8/23	農業・農村の持つ役割と農業遺産 （近畿農政局）
10/2～10/31	京都のステキな木の空間 （京都市産業観光局農林振興室林業振興課）
10/8～12/1	SDGs時代の伝統産業 ～未来に駆ける高校生の提案～ （立命館宇治高校 IB コース）
10/10～10/23	みんなで、できることから、食品ロス削減に取り組んでほしいのん！ （近畿農政局）
11/23～1/8	「香り」が「害」って何だろう？展～化学物質過敏症・香害・SDGs～ （過敏症・香害を正しく知る委員会）
12/2～1/14	ハイムーン曼荼羅と再生環境カレンダー原画展 （株式会社ファインワークス／協力：JEE Kyoto）
1/26～3/11	「地球環境を考える10の問い」～地球研からのメッセージ （総合地球環境学研究所）
1/29～2/12	いけばな街道×京エコロジーセンター （フラワーサイコロジー協会、日本いけばな療法学会）



3/15～5/8	「地球にe-coto チャレンジ in 深草 ～みんなでい～ことやってみよう！～」－謎解きダンボール迷路－ (伏見区役所深草支所／協力:株式会社トヨタ)
----------	---

※朝日新聞2月10日掲載 (いけばな街道×京エコロジーセンター)

- ・ 上記の共同主催型企画展の関連イベント・セミナー

開催日	タイトル (共催団体等)	参加人数
1/28、2/3 2/10、2/11 2/12	いけばな街道作品づくりワークショップ (フラワーサイコロジー協会、日本いけばな療法学会)	160人
2/11	セミナー「いけばな療法による自然と人とのつながり」 (フラワーサイコロジー協会、日本いけばな療法学会)	32人
3/9 (全2回)	エコ絵の具で思いっきり遊ぼう！ (伏見区役所深草支所)	37人
3/23	ぐるり0円お譲り交換会 (伏見区役所深草支所)	250人
3/24 (全5回)	指アートで世界にひとつのメモリアルオーナメントを作ろう！ (伏見区役所深草支所)	134人

- イ 巡回展示

開催日	実施場所・内容
6/10～7/2	セントラルスクエア西大路花屋町店・「海ごみミュージアム」
7/14～8/15	イズミヤ六地藏店・パネル展示
7/22～8/27	京の食文化ミュージアムあじわい館・「海ごみミュージアム」
11/1～11/30	京都市役所本庁舎地下連絡通路・「海ごみミュージアム」

- ウ 「エコセン通い帳」(※1)の参加人数

参加人数	「エコの達人認定証」(※2)の発行数
1,622人	63枚

※1: 当センターに繰り返し来館することを促進するもの

※2: 「エコセン通い帳」に10回参加した方を表彰するもの

- エ 「木のおもちゃひろば」の利用数

利用組数	利用者数
3,148組	8,767人

- オ エントランス貸出ツールBOX「ちきゅまるのはこ」の利用数

利用組数	利用者数
478組	1,386人

- カ アンケート (回答数: 338件)

来館回数についての設問に回答があった310件のうち、初めての来館は98件(32%)、

2回目以上の来館は212件（68％）で、高いリピート率となっており、3回目以上の来館が166件（54％）と、半数以上を占めています。

なお、「また来館したいと思いますか」という質問への回答（回答数:282件）も、「また来館したい」という方が249件（88％）と高い率となっています。

・来館目的についての設問

有効回答 (複数選択可)	1位 展示の見学	2位 青少年科学センターの前後	3位 たまたま来館
451件	101件 (22%)	95件 (21%)	68件 (15%)

・来館者のお住まいについての設問

有効回答	京都市内	京都府内	他府県
309件	192件 (62%)	49件 (16%)	68件 (22%)

(3) 環境の保全に関する情報の収集及び提供(1131)

団体見学、京都市立小学校向けのエコ学習、出前講座等の実績は以下のとおりです。

ア 団体見学

団体数	人数
112	3,302人

イ エコ学習

団体数	人数
72	1,691人

ウ 出前講座

開催日	実施場所	参加人数
6/5	羽東師小学校	112人
6/27	九条中学校	56人
1/31	西大路小学校	21人
2/27	西大路小学校	24人

エ オンライン団体見学

団体名	人数
香川大学	12人

(4) 環境副読本発行(1142)

小学5年生用の全面改訂を行い、小学5・6年生用として新たに作成しました。改訂に際し、児童の読みやすさや教員の扱いやすさ等を意識し、前半部分は総合学習の導入として、後半部分は社会科・家庭科・理科での副教材として位置づけ編集しました。

令和6年度版環境副読本小学4年生用、小学5年生用各12,000部、中学生用13,000部を印刷・製本し、京都市内の全小中学校に配布しました。環境副読本の活用を増や

してもらうため、各教科や総合的な学習の時間での活用方法の紹介を併せて配布しました。加えて、中学生用の環境副読本を使用した出前講座(アウトリーチプログラム)のお知らせを京都市内全中学校に配布し、学校現場でのSDGs学習に活用してもらえるようにしています。

(5) ホームページ等による情報発信(1144)

イベント案内チラシを隔月で作成し、公共施設等に向けて発行しました。その他、市民しんぶんや「あつまれ！京わくわくのトビラ」などの外部のイベント情報媒体等にもイベント情報や企画展情報などを掲載しました。当センターホームページに設置しているフォームより他団体主催のイベント情報を受け付け、それらも当センターのホームページにて情報発信しました。

(6) 環境の保全に関する講座、研修等の開催(1145)

子どもから大人までを対象としたイベント、講座等を、様々な団体との協働で開催しました。

※共同主催型企画展の関連イベント・セミナーは、上記(1)(2)に記載

ア イベント、講座

開催日	タイトル	講師	参加人数
4/29	京エコロジーセンター開館 21周年記念「トークイベント 「若者×環境→エコ発信！」	村田美穂氏(一般社団法人ハピエコ代表理事)	23人
【オンデマンド配信】6/5～7/5		松本恵里佳氏(Plarial代表) 廣瀬智之氏 (TomoshiBito(株)代表取締役社長)	(再生回数：140回)
5/28	牛乳パックのリユース工作～牛乳パックを使ってびっくり箱を作ってみよう～	天野光雄氏(幼児のための環境学習プログラム作成の会)	19人
6/24	エコせんプレーパーク	センター職員	38人
7/23	石が絵具に!?手作り岩絵具教室	NPO 法人富士山からはじまる天然顔料と粉砕の研究会	35人
7/26	エコの学校「カレットアート」～空きびんのリサイクル体験～	宝酒造株式会社	28人

8/12 8/13	ぐるり0円お譲り交換会	「ぐるり0円お譲り交換会」実施ボランティア	460人
8/16	<p>バナナを救え！ムダをなくそう料理教室-あま〜いキャラメルバナナパンケーキを作ろう！</p> <p>※ノートルダム女学院高校生の企画</p> 	認定 NPO 法人環境市民・松田直子氏	19人
10/15	ハンバーグと地球のつながり～親子で作るクッキング教室～	生活クラブ京都エル・コープ食育講師チーム	21人
10/21	SDGs 紙芝居-高校生と家庭できる SDGs を考えよう！-	京都市立高校グローバルリーダー育成研修10期生	30人
10/22	野菜由来の“ベジペイントと絵の具”で、自分だけの家をデザインしてみよう！	合同会社ラピスプライベート	20人
11/23	環境×京都の伝統産業・伝統工芸体験ワークショップ「ミニ和傘のコラージュ体験」	株式会社日吉屋	37人
11/26	SDGs 紙芝居&クイズ大会～高校生と一緒に SDGs を考えよう！～	京都市立高校グローバルリーダー育成研修10期生	33人
12/3	<p>食育×環境「江戸時代の食生活から学ぶ料理教室」</p> <p>※インターン生の企画</p> 	YONkitchen 代表/きょうと食いく先生 山本優子氏	14人

1/27	映画『Wende (ヴェンデ) 光と水のエネルギー』上映&監督トークイベント	映画監督 高垣博也氏	42人
2/18	手前味噌を作ってみよう～!	生活クラブ京都エル・コープ食育講師チーム	10人
2/23	エシカルチョコレートを創ろう	消費者市民教育研究会	17人
3/30	春休み 親子でチャレンジ!	京都こどもクッキング	22人

※京都新聞8月13日掲載(ぐるり0円お譲り交換会)

イ ちきゅまるひろば

来館者の多い日曜日のイベントを増やす目的で、当センターの職員によるオリジナルイベント「ちきゅまるひろば」を、各プログラム2回ずつ、全32回開催しました。

開催日	タイトル	主なテーマ	参加人数
5/21	5月30日のヒミツ	ごみゼロ、海のごみ	5人
6/4	森と地球	木材の積極利用	20人
6/18	ちきゅまるの〇〇をさがせ!	整理整頓、Reduce	10人
7/2	海にうかぶ小さなごみの大きなヒミツ	海のごみ、海洋プラスチック	33人
7/16	うみのごみをしろう	海のごみ	13人
8/6	未知のカエルさん	生物多様性、両生類のライフサイクル	15人
8/20	コンセントの向こう側	再生可能エネルギーの利用	17人
9/3	じっけん!みずをよごすのはなあに? ※インターン生の企画	水質汚染、生活排水、Reduce	18人
9/17	いらなくなった紙から〇〇を作ろう!	古紙の再利用	21人
10/1	しょうみ?しょうひ?どっちでしょう?!	食品ロス、賞味期限	19人
10/15	木のペンダントづくり	木材の積極利用	25人
11/5	いらなくなった紙から〇〇を作ろう!	古紙の再利用	18人
11/19	ちきゅまるさがし	自然への関心の喚起	19人
12/17	エコクリスマスツリーを作ろう!	Reuse	18人
1/21	雨のおえかき	自然への関心の喚起	36人

2/18	コンセンソの向こう側	再生可能エネルギーの利用	10人
------	------------	--------------	-----

ウ えこそらキッズ

自然と暮らしのつながりを学ぶ「えこそらキッズ」（小学1年生から4年生とその保護者が対象）を、約8か月間に渡って全14回開催しました。

ー	開催日	主な活動内容	参加人数
第1回	5/13	ガイダンス、野菜の種まき・植付け	37人
第2回	5/27	田植え、野菜の種まき・植付け	33人
第3回	7/1	生きもの観察、畑の手入れ、収穫	26人
第4回	8/5	藍染め、畑の手入れ、収穫	22人
第5回	8/26	野菜の種まき、畑の手入れ、収穫	32人
第6回	9/9	畑の手入れ、野菜の種まき・植付け	20人
第7回	9/23	稲刈り、畑の手入れ	34人
第8回	10/14	芋ほり、落花生の収穫、畑の手入れ、	28人
第9回	10/28	脱穀、もみすり、畑の手入れ	24人
第10回	11/18	しめ縄作り、食材ゲーム	24人
第11回	12/2	収穫した食材のクッキング	21人
第12回	12/9	収穫した食材のクッキング	13人
第13回	1/6	“思い出絵巻”（活動のまとめ）の作成	23人
第14回	1/20	“思い出絵巻”の発表	30人

(7) 環境保全促進のための研究、調査等(1146)

令和3年度に発足した「京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム～2050京創ミーティング～」の事務局を京都市と共に担い、3月に開催した第5回会議の進め方の提案や当日運営の他、検討する内容に関する情報収集や提案、メンバー及び関係者との調整や情報交換等を行いました。

令和5年度は、前年度に策定したビジョン等の実現に向けた具体的なプロジェクトを進めるため、WG会議を「消費行動」「住まい」「つながり」の3つのテーマ別に2回ずつ計6回、WG合同会議を1回開催しました。

また、4年度及び5年度、地球環境基金助成金の助成を受けてライフスタイルに関するアンケート調査を実施した他、同様の内容で7月から12月にかけて京都市と西宮市にある大学に通学する大学生144人を対象として実施したアンケート調査の集計も行いました。

※PR TIMES <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000125560.html>

さらに、効果測定の手法として、ソーシャルインパクトの活用について研究、調査を進めるため、京都市と共にロジックモデルの検討を行い、この手法での専門性を持つ&PUBLIC株式会社との連携に向けた調整を行いました。

上記の取組をさらに広げたり実装していくため、協会がこれまで培ってきた企業や団体等とのつながりや連携を活かすことを目的に、プラットフォーム機能の有り方等の事前調査を行いました。

(8) 環境ボランティアの育成(1147)

各種研修やグループ活動等は、対面を基本としつつも、対面とオンラインのハイブリッドでも実施しました。

ボランティアが自主的な活動を展開するグループ活動は、自主企画イベントが22件、展示が2件実施されました。

令和6年度のエコメイト募集にかかるチラシとポスターの作成、広報を行い、エコメイト養成講座の事前説明会を10月から12月に計9回実施し、計54人が参加しました。

3月にエコメイトを対象に年間ふりかえりの会を行い、次年度に向けた活動意識の向上を図り、エコメイト21期を対象とした修了証授与式を行いました。また、8人の方が新たに京エコサポーターとして登録しました。

1月～3月にエコメイト養成講座を全6回実施し、24人の方を24期エコメイトとして登録しました。

◇マネジメントの会

開催日	タイトル	対象	参加人数
4/2	登録証授与式	エコメイト23期	21人
4/2	スタートアップの会	エコメイト	32人
5/21	グループ活動・サポート活動説明会&報告会	エコメイト 京エコサポーター	34人
7/2	エコセンボランティアミーティング①	エコメイト 京エコサポーター	31人
9/3	館長のお話	エコメイト 京エコサポーター	16人
9/3	中間ふりかえりの会	エコメイト	18人
10/22	エコセンボランティアミーティング②	エコメイト 京エコサポーター	13人
3/17	年間ふりかえりの会	エコメイト	27人
3/17	修了証授与式	エコメイト21期	7人

◇各種研修

開催日	タイトル	参加人数
4/22	ボランティア研修① 「マナー&コミュニケーション」	23人
5/12	プログラム研修 「小4エコ学習/ごみへらし隊」	17人
6/18	ボランティア研修②「電気」	40人 (来館26、オンライン14)
7/21	通い帳研修	10人
7/29	ボランティア研修③「施設設備(屋上)」	26人
8/27	ボランティア研修④「京都の木」	42人 (来館32、オンライン10)
9/11	ガイド研修(館内の案内)	16人
9/24	ボランティア研修⑤「海洋プラスチック」	35人 (来館22、オンライン13)
10/4	プログラム研修 「小5エコ学習/温暖化ふせぎ隊」	27人
11/13	ボランティア研修⑥「ごみ処理」	32人
12/3	ボランティア研修⑦「食」	33人 (来館19、オンライン14)
2/3	ボランティア研修⑧「COP28・地球温暖化最新 情報」	31人 (来館21、オンライン10)

◇ボランティアによる自主企画イベント

※1 登録グループ：長期的なミッション達成のため年間計画を基に通年で活動

※2 ワーキンググループ：単発のイベントや行事等の実施を目的に活動

開催日	タイトル	実施グループ名	参加人数
6/11	ごみ分別ゲーム～プラスチックごみの出し方が変わりました！～	登録グループ ※1 「イベントグループ」	77人
7/29 8/5・10・17	2023 エコセン☆夏休みワクワクひろば	登録グループ 「イベントグループ」	212人
7/22・23・25 8/10・12	ボランティア推薦図書特別 展示絵本&POP 展関連イベント「絵本の読み聞かせ」	登録グループ 「図書グループ」	66人
8/6	マイ風力発電機を作ろう！	登録グループ 「エコエネクラブ」	26人
8/6	悲しむ食品を救え！冷蔵庫からしなびた野菜が出てき	ワーキンググループ ※2 「食品ロス」	55人

	たことはないですか？		
8/11	家庭のごみ減量診断	ワーキンググループ 「うちごみ相談所」	34人
8/18・19・20	夏休み！エコドリル探検隊	登録グループ 「洛楽ガイド」	150人
11/11	Eco 縁日 2023	ワーキンググループ 「食品ロス」	70人
11/11日・12	青少年のための科学の祭典 「ソーラークワガタでサッカーゲーム 2023」	登録グループ 「エコエネクラブ」	392人
12/16	おやつ時間はハッピータイム	登録グループ 「♪エコロジーカフェ♪の会」	19人
12/17	ソーラーランタンハウスを作ろう！	登録グループ 「エコエネクラブ」	19人
12/23	冬休みワクワクひろば～大型紙しばい～	登録グループ 「イベントグループ」	33人
1/8	冬休みワクワクひろば～大型紙しばい～	登録グループ 「イベントグループ」	54人
1/21	食ロスイベント	ワーキンググループ 「食ロス」	105人
1/21	フードドライブ@エコセン	ワーキンググループ 「フードドライブ」	18人
2/4	第18回「科博連サイエンスフェスティバル」 「ソーラークワガタでサッカーゲーム 2023」	登録グループ 「エコエネクラブ」	198人
2/4	第18回「科博連サイエンスフェスティバル」 「自然エネルギー発電体験教室」	登録グループ 「イベントグループ」	335人
2/18	地球にも、お財布にもやさしい生活をしてみませんか 家庭の省エネ相談所（冬版）	ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	17人
2/18	企業向けの気候変動対策も一緒に勉強してみる？	ワーキンググループ 「少しあつメイト」	9人
2/25	味噌作りを通してフードロスについて考えよう	ワーキンググループ 「味噌作り」	20人

3/2	住まいの断熱と健康	ワーキンググループ 「省エネ普及ネット・京都」	11人
3/20	地球にも、お財布にもやさしい生活をしてみませんか 家庭の省エネ相談所（冬版）	ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	15人

◇ボランティアによる自主企画展示

開催期間	タイトル	実施グループ名
7/11～ 8/28	ボランティア推薦図書特別展示絵本&POP展	登録グループ 「図書グループ」
10/3～ 11/6	ボランティア推薦図書特別展示 読書週間 Book&POP展	登録グループ 「図書グループ」

◇エコメイト養成講座

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	1/13	京エコロジーセンター・ボランティア きほんのき	28人
第2回	1/21	環境問題 きほんのき	28人
第3回	1/28	展示・コミュニケーション きほんのき	24人
第4回	2/10	環境学習プログラム きほんのき（2日間）	23人
	2/11		22人
第5回	2/14	実習オリエンテーション	21人
	2/17		7人
	2/16 ～3/2	実習期間	49人
第6回	3/3	これまでの講座のふりかえり&登録説明会	21人

(9) 環境保全活動に関わる人材の育成(1148)

自然エネルギー普及に向けた担い手育成を目的とした「自然エネルギー学校・京都2023」を6月～9月の期間に対面とオンラインのハイブリッドで実施しました。自然エネルギーに関する最新情報及び基礎知識、実践経験などを学び、自然エネルギーを普及・啓発するための担い手育成の機会となりました。

また、地域等で活躍できる人材を発掘・養成することを目的とした「環境活動パワーアップ講座2023」を10月～12月の期間で実施しました。講座期間中には修了後の活動の場の情報提供として、環境ボランティア募集などの情報を受講者に提供しました。講座終了後のアンケートでは、参加者の前向きな意見が得られ、今後の環境活動の発展が期待できるものとなりました。

◇自然エネルギー学校・京都 2023

地域貢献型のソーラー発電を増やす担い手になろう！

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	6/10	太陽光発電の最新動向を知ろう！	89人 (対面16、オンライン73)
第2回	7/22	太陽光発電の技術について学ぼう！	77人 (対面18、オンライン59)
第3回	8/19	自分に合った導入方法を探そう！～個人・小規模事業者・オフィス編～	69人 (対面15、オンライン54)
第4回	9/23	自分に合った導入方法を探そう！～地域編～	62人 (対面18、オンライン44)

◇環境活動パワーアップ講座 2023

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	10/21	「自分の思いを文字や言葉にしてみよう」	11人
第2回	11/4	「アクティビティを体験してみよう」	12人
第3回	11/25	「環境活動の広報って何？こんなふうにネットワークを広げよう」	10人
第4回	12/9	「若者の活動を知ろう いろいろな立場の人と協働しよう」	8人
	12/10	「今日からスタート！活動を伝え、多くの人に呼びかけよう」	8人

(10) 海外との交流(1149)

国内外で活動する環境団体等の連携・交流につながるような国際的な取組の推進に向け、各団体や大学等の研究者や実践者についての情報を収集し、実施可能な取組について引き続き検討しています。

海外からの団体見学受入実績及び国際事業実績は以下のとおりです。

団体見学受入件数は22件431人と前年度の8件140人を大きく上回りました。

また、京都市立グローバルリーダー育成研修の実施に協力し、マレーシアの高校とオンラインによるワークショップを開催しました。また、この参加者のうち2グループが当センターにおいてイベント（11頁参照）を開催するなど、活動の広がりを支援しました。

◇海外からの団体見学受入実績

日付	団体名	人数
4/18	韓国 富平（プピョン）区役所環境委員会	15人
4/25	国際教育交換協議会（CIEE 京都）	5人
5/17	アメリカ バックネル大学	13人

6/27	フィンランド タンペレ大学	2人
7/4	中国 同済大学	25人
7/14	一般財団法人省エネルギーセンター JICA 研修「省エネ脱炭素」 コース	10人
8/1	中国 イートンインターナショナル幼稚園 (Etonkids)	23人
8/4	公益財団法人国際環境技術移転センター (ICETT) 「高校生地球 環境塾」	21人
8/23	中国 南京農業大学	59人
8/29	台湾 台湾環境教育学会	1人
8/30	韓国 KTA mode tour	42人
9/29	JICA 課題別研修「脱炭素で持続可能な都市・地域開発のための 自治体能力強化」	6人
10/23	公益財団法人国際環境技術移転センター (ICETT) JICA 課題別 研修「海洋ごみ対策のための廃棄物管理研修」	7人
10/24	国際教育交換協議会 (CIEE 京都)	3人
10/27	the Jefferson Fellowships (海外からのジャーナリスト関係者)	11人
11/15	韓国 セィロム小学校	11人
11/21	韓国 浦項市資源循環課	10人
1/19	中国 重慶大学	34人
1/21	中国 延安市宝塔区創新実験小学校	50人
1/30	中国 延安市宝塔区創新実験小学校	25人
2/20	中国 延安市宝塔区知新小学校	24人
3/27	中国 東華三院黄笏南中學	34人

◇国際事業実績

日付	団体名	人数
通期	JICA 草の根事業「マレーシア国 ASEAN のモデルとなる低炭素 社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プ ロジェクト (地域活性化特別枠)」内における研修/プロジェ クト研修員	-
8/21～ 10/14	JICA 課題別研修「脱炭素で持続可能な都市・地域開発のため の自治体能力強化」	4人

(11) 大学生の環境活動支援(1150)

5月から受け入れているエコそらキッズの大学生ボランティア4人の活動を継続して支援しました。

また、7月から2人のインターン生を受け入れました。インターン生は、9月のミニイベント「ちきゅまるひろば」の企画と実施に携わり、12月には食育×環境イベント「江戸時代の食生活から学ぶ料理教室」を実施しました。

以下のとおり、大学の学生個人や団体から12件の相談等があり、イベント協力等の支援を行いました。

日時	実施内容/参加者	参加人数
5/13	フィンランドのトルク大学の学生から、日本人の消費意識に対するアンケート実施に向けた相談の対応	1人
7/9	京都外国語大学 学生相談（卒業論文執筆に係る相談）	4人
7/30	京都大学大学院工学研究科M1学生相談 HPより京都環境賞の展示があるのを見て来館	1人
8/18	日本出版でインターンをしている大阪樟蔭女子大学の学生が京エコロジーセンターにて環境について学びたいとのことで来館「環境教育教材開発」に関するインタビューを受けるとともに、アドバイスを行った。	6人
8/18	同志社大学/立命館大学の学生によるスタートアップ会社「もったい苗」からの支援相談	2人
8/21	同志社大学人文科学研究所「「グリーン社会とソーシャル・イノベーション研究会」公開座談会の開催（共催事業として京エコロジーセンターを会場に開催）	15人
10/24	龍谷大学「伏見まちづくりプロジェクト」への協力	12人
11/1	同志社大学 学生相談（卒業論文執筆に係る相談）	1人
12/3	京エコロジーセンターインターン企画「食育×環境『江戸時代の食生活から学ぶ料理教室』」	14人
12/11	ボランティア研修（臨時）ワークショップ「天水バケツを知ろう」参加者に対するアンケート協力依頼	-
12/22	京エコロジーセンターインターン生 成果報告会	13人
3/1	京都文教大学社会連携部 短期インターン生の受け入れについて相談	1人

(12) アウトリーチ（センター外での実施）（1151）

既述の巡回展示や出前講座のほか、以下のようなセンター外イベント・ブース出展を実施しました。

◇巡回展示・移動展示ユニット貸出し

開催日	実施場所
5/29～7/3	京都市伏見区役所醍醐支所（移動展示ユニット貸出し）
6/10～7/2（再掲）	セントラルスクエア西大路花屋町店
7/14～8/15（再掲）	イズミヤ六地藏店
7/21	きょうと生物多様性センター
7/22～8/27（再掲）	京の食文化ミュージアムあじわい館
8/28～9/4	大同硝子興業株式会社 京都工場（移動展示ユニット貸出し）
9/29～10/31	京都市役所（資源循環推進課）（移動展示ユニット貸出し）

10/20～10/25	長岡京市市民活動サポートセンター（移動展示ユニット貸出し）
11/1～11/30（再掲）	京都市役所（地球温暖化対策室）（移動展示ユニット貸出し）
12/16～12/17	株式会社現代の寺子屋（移動展示ユニット貸出し）

◇出前講座（再掲）

開催日	実施場所	参加人数
6/5	羽束師小学校	112人
6/27	九条中学校	56人
1/31	西大路小学校	21人
2/27	西大路小学校	24人



◇情報発信

開催日	実施場所・イベント名等	参加人数
4/22～4/23	岡崎公園「アースデイ in 京都 2023」	433人
5/3～5/4	梅小路公園「梅小路公園グリーンフェア 2023 春」	286人
5/5	岡崎公園「KIDS 万博～次世代の子どもたちにバトンを繋ぐ～」	110人
6/24	東山区総合庁舎「環境フェスタ東山」	51人
8/5	京都市立新町小学校「上京区中立ふれあい広場」	120人
8/6	梅屋広場「梅屋夏まつり」	126人
8/26	みつば幼稚園「小川学区盆おどり大会」	146人
10/7	元町小学校「元町小学校運動会」	20人
10/28～10/29	京都刑務所「京都矯正展」	500人
11/11	鶴見緑地公園「Eco 縁日 2023」	70人
11/19	キャンパスプラザ京都「養成講座 事前説明会」	15人
2/4	京都市青少年科学センター 「第18回「科博連サイエンスフェスティバル」①	335人
2/4	京都市青少年科学センター 「第18回「科博連サイエンスフェスティバル」②	198人
2/10	京都市立紫竹小学校「紫竹エコフェスタ」	63人

◇センター外イベント

開催日	実施場所・イベント名等	参加人数
5/3	セントラルスクエア西大路花屋町店 「保冷剤きらきらリメイク大作戦」	22人
7/23	セントラルスクエア西大路花屋町店「ロボット“こくり”からの挑戦状 ～SDGs クイズをクリアせよ～」	29人
8/5	ライフ四条烏丸店「ロボット“こくり”からの挑戦状 ～SDGs クイズをクリアせよ～」	17人

8/19	フレンドマート MOMO テラス店 SDGs イベント「食品ロスについて学び、自分ができることを考える」	90人
8/20	セントラルスクエア西大路花屋町店 館外イベント「マイ風力発電機を作ろう！」	7人
3/10	セントラルスクエア西大路花屋町店 館外イベント「SDGs ビンゴゲーム in セントラルスクエア」	11人

2 さすてな京都運營業務(2101) ※京都市委託事業

当協会と2社による連合体「さすてな京都運営コンソーシアム」として実施しました。令和5年度は、前年度施設利用者数(37,988人)を大幅に超える状況となりました。

	施設利用者数	前年度比
令和5年度	54,410人	143%

(1) 3施設連携事業

青少年科学センター・当センター・さすてな京都をつなぐシャトルバスを運行し、伏見区環境学習拠点3施設の連携として以下の事業を実施しました。

開催日	名称	内容
8/5~31	夏休み期間中の伏見区3施設連携企画	青少年科学センターにて、3施設による環境に関するパネル等の展示・動画放映の実施、及びワークショップを開催
7/14~8/15 12/18~1/15	4施設活動紹介パネル展示	イズミヤ六地藏店にて、3施設に加え、衛生環境研究所の紹介パネルを展示
11月~1月	「伝統産業・伝統工芸」をテーマにしたイベントの開催	京都の伝統産業・伝統工芸に触れ、物を大切に使い切るしまつのころや、自然と共生する暮らしについて学ぶ体験講座(施設ごとに内容が異なる)を実施。(公財)京都伝統産業交流センターの協力を受け開催 ① 京エコロジーセンター ・ミニ和傘のコラージュ体験(11/23) ② 青少年科学センター ・和ろうそく絵付け(1/20) ③ さすてな京都 ・竹かごづくり(12/2) ・陶芸体験(12/10)
2/5	科博連サイエンスフェスティバル	京エコロジーセンター及び青少年科学センターが会場となり、科博連(京都市科学系博物館等連絡協議会)構成メンバー(さすてな京都も含む)がブース出展。

(2) 4周年記念プログラム

期間中総参加数 112組 308人

開催日	事業名称
11/3	ヌメ革パッチワークの学校 in さすてな京都
11/18	島津製作所 「分析装置で調べて宝物を探そう！」
11/19	おかしな箱で「明和電機的」楽器作り！最後はみんなでコンサート！
11/25	島津製作所「カードゲームで生き物について学ぼう！」
2/2	有限会社横山竹材店「竹かご」をつくろう！
12/9	ミツカン「親子で楽しく『もったいない』を学ぼう！」
12/10	京都青窯会協同組合「京焼・清水焼」をつくろう！
12/16・17	武田薬品工業「薬用植物博士になろう！～漢方薬の素を知る～」
12/25	テラスエナジー「～未来×エネルギー発明家体験～さすてな京都で未来のエネルギーを探そう！」
12/26	ローム「電気を上手につかう！？回路と節電のヒミツにせまろう！」

【2】国際事業 ※JICA委託事業

1 JICA事業

(1) 課題別研修「脱炭素で持続可能な都市・地域開発のための自治体能力強化」(1201)

8月21日～10月14日の約2か月間、オンラインセッション（オンデマンド教材による学習とリアルタイムセッションでの意見交換やワークショップ）と、訪日研修（講義、視察、ワークショップ、意見交換）のハイブリッド形式で実施しました。参加者は3カ国（マレーシア、ラオス、チリ）から4人でした。

気候変動対策を各受講者の自治体の開発計画に取り込むことを目指し、京都市を中心に関西圏の取組事例の紹介や視察に加え、東京やさいたま市、小田原市も訪問し、それぞれの取組を学びました。また、研修員同士の意見交換や講師、視察先の担当者との意見交換などを通じ互いに学びを深めました。最終日にはそれぞれが帰国後に実施するアクションプランを発表しました。

(2) 草の根事業 マレーシア国「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」(1202)

2023年2月に開設したジョホール・バル市のエコセンター“Sudut Lestari”をマレーシアの職員で運営していけるよう、7月にエコセンター職員とイスカンダル地域開発庁の職員を対象とした訪日研修を実施しました。

研修では展示開発、人材育成、プログラム開発、中間支援についての講義を行ったほか、関西圏の博物館、地域コミュニティでの環境教育・環境保全活動現場に足を運び、学びを深めました。また、この訪日研修に合わせプロジェクトの中間報告会を一

般市民の方を対象に実施し、エコセンター運営を直接担っている職員がエコセンター開設までの歩みや開設後の活動の様子を動画も交え紹介しました。

11月には、プロジェクトの上位目標にも掲げているASEAN地域への展開に向け、ASEAN諸国からの自治体職員及び大学関係者等14人（インドネシア、タイ、ベトナム及びマレーシアのジョホール・バル市以外の自治体等からの参加者）を対象に、マレーシアで展開されてきた環境教育・環境保全活動を学ぶ研修をマレーシアで実施しました。

小学校やセカンダリースクール、現地のエコセンター等を訪問し、学校関係者、行政、事業者やコミュニティが拠点施設と連携し学校や地域コミュニティでの活動に意欲的に取り組む様子を視察しました。研修には京都市職員も1人参加され、京都市の気候変動対策や海外との連携事業についての意見交換や交流を通じて、知見を共有する貴重な機会にもなりました。

(3) 技術協力プロジェクト「インド国ヴァラナシ市衛生改善プロジェクト」支援業務(1206)

一般財団法人日本環境衛生センター（JESC）からの依頼を受け、2月末にインド国ウッタラ・プラデシュ州及びヴァラナシ市の行政官5人を対象に「環境教育の実施」と題し、京エコロジーセンターの館内案内と協会事業の取組紹介を行いました。

2 その他国際事業（調査、案件形成等）(1205)

令和7年度からの案件形成に向け、情報収集及び国際協力団体とのネットワーキングに向けた取り組みを進めました。

【3】地域環境活動支援事業

1 「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援事業(1301)

※京都市委託事業

当センターに「エコ学区サポートセンター」を開設し（平日9時～17時）、地域ぐるみのエコ活動についてのワンストップサービスの相談窓口として対応しました。エコ学区として宣言した222学区及び学区以外のコミュニティ（自治会、ボランティア団体及び大学サークル等）に対し、エコ活動の現場取材、地域へ直接アプローチを行うなど、地域ぐるみのエコ活動を促進しました。

(1) 学習会

学区と学区以外のコミュニティを対象に公募し、「2050年CO₂ゼロ どこでもトーク」を実施しました。（全30件：学区10件・他団体20件）。

また、どこでもトークの支援上限に達した後に学区、一般団体から学習会の実施相談に対応するため、協会講師派遣事業への誘導やエコセンの館外事業・他団体の講師への引き継ぎ対応を行いました（計24件）。

◇2050年CO2ゼロ どこでもトーク実施一覧

開催日	タイトル	講師	学区/団体	参加者数
7/12	生ごみから美味しい野菜をつくるコンポスト	中田 俊 氏 (株式会社夢びと)	京都市保育士メンバー (三条保育所・鏡山保育所)	14人
7/23	日本初!ゼロ・ウェイストなスーパーマーケット	梅田 温子 氏 (株式会社斗々屋)	みらい食堂	26人
7/24	伝統産業とサステナビリティ	堤 卓也 氏 (株式会社堤浅吉漆店)	立命館大学学友会登録団体 natuRable	18人
8/12	学区・地域での環境学習会	エコ学区サポートセンター	乾学区社会福祉協議会 乾地域ごみ減量推進会議	26人
9/2	科学者の描く未来予想図	伊勢 武史 氏 (京都大学准教授)	Fridays For Future Kyoto	12人
9/12	学区・地域での環境学習会	エコ学区サポートセンター	下京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会	24人
9/25	【食育×エコ】子ども達と一緒に菜園活動!	中嶋 直己 氏 (株式会社中嶋農園)	京都市南保育所	6人
9/26	生ごみが堆肥に変わる段ボールコンポストづくり	桃山エコ推進委員会	京都市立大塚小学校 PTA	10人
10/7	伝統産業とサステナビリティ	堤 卓也 氏 (株式会社堤浅吉漆店)	一般社団法人ふろしき研究会	24人
10/13	科学者の描く未来予想図	伊勢 武史 氏 (京都大学准教授)	朱雀第三学区自治連合会	12人
10/15	学区・地域でのブース出展「防災×エコ」	エコ学区サポートセンター	羽東師学区自主防災会	82人
10/19	生ごみから美味しい野菜をつくるコンポスト	宮本 優以 氏 (株式会社夢びと)	京都市立京都工学院高等学校	21人
10/20	一緒に自然観察会をしよう!	伊勢 武史 氏 (京都大学准教授)	フリースクール わく星学校	24人
10/21	ファッションロス、古着の回収と再循環の仕組み	岩崎 仁志 氏 笹木 晴菜 氏 (株式会社ヒューマンフォーラム)	梅屋学区自治連合協議会	12人

10/30	持続可能な農業と小さな菜園体験～マイ家庭菜園を作ろう！実習～	中嶋 直己 氏 (株式会社中嶋農園)	京都橘大学 平賀緑ゼミ	14 人
11/9	ファッションロス、古着の回収と再循環の仕組み	岩崎 仁志 氏 笹木 晴菜 氏 (株式会社ヒューマンフォーラム)	京都府立 洛西高等学校	290 人
11/12	エコキッズになろう！	エコ学区 サポートセンター	京都市立 正親小学校 PTA	153 人
11/19	夏涼しく冬暖かい！ 窓の遮熱・断熱を知ろう	山見 拓 氏 (有限会社ひのでや エコライフ研究所)	東高松 向上委員会	11 人
11/25	親子ミニ菜園教室～みんな で一緒に苗植えをしよう～	中嶋 直己 氏 (株式会社中嶋農園)	NPO 法人コミュニ ニティ・スペー ス sacula	21 人
12/2	学区・地域でのブース出展 「防災×エコ」	エコ学区 サポートセンター	京都市立川岡東 小学校 PTA	100 人
12/3	ファッションと SDGs	岩崎 仁志 氏 笹木 晴菜 氏 (株式会社ヒューマン フォーラム)	久我の杜学区	17 人
12/4	ファッションロス、古着の回収と再循環の仕組み	岩崎 仁志 氏 (株式会社ヒューマン フォーラム)	京都生協 北ブロック	29 人
12/9	学区・地域での 環境学習会&ブース出展	桃山エコ推進委員会	高松橋 広場づくりの会	35 人
12/10	夏涼しく冬暖かい！ 窓の遮熱・断熱を知ろう	山見 拓 氏 (有限会社ひのでや エコライフ研究所)	京都友の会	187 人
12/16	生ごみを捨てない暮らし。 コンポストで美味しい野菜	宮本 優以 氏 (株式会社夢びと)	NPO 法人京都 カラスマ大学	14 人
12/18	再生可能エネルギーで CO2 排出ゼロの未来を	木原 浩貴 氏 (たんた んエナジー株式会社)	桂東学区 自治連合会	22 人
12/25	科学者の描く未来予想図	伊勢 武史 氏 (京都大学准教授)	京都市立 紫野高等学校	20 人
1/20	地球温暖化は将来どうな る？～生態科学の描く未来 予想図～	伊勢 武史 氏 (京都大学准教授)	桃山学区	37 人

2/22	みんなでつくり、 ごみを生まない「小売」	梅田 温子 氏 (株式会社斗々屋)	くるん京都	46 人
3/9	ファッションとSDGs	岩崎 仁志 氏 笹木 晴菜 氏 (株式会社ヒューマン フォーラム)	北区地域ごみ減 量推進会議	31 人
合計				1,338 人

(2) その他支援

自発的にエコ活動に取り組んでいるエコ学区（桃山・豊園・中立・久我の杜・上高野等）を中心に、地域性を活かした独自のエコ活動、地域の意欲に応じた支援を行いました。また、令和5年度の京都環境賞についての趣旨説明を行い、複数の学区が応募されました。その結果、エコ学区活動内容を理由として、エコ学区賞1団体（久我の杜自治連合会地域ごみ減量推進会議）、奨励賞1団体（中立エコ生活推進会議）が表彰されています。

2 京都発脱炭素ライフスタイル推進に係るプロジェクト創出及び実証支援等業務 ※京都市委託事業

(1) 企業等連携によるプロジェクトの創出及び実証支援事業(1304)

2050京創ミーティングの下に、「消費行動」「住まい」「つながり」の3つのテーマ別WGを結成しました。参画するメンバーがビジョン、目標・指標及びアクションリストに基づき、市民がライフスタイルをよりCO2の排出が少ないものに転換していくための仕掛け（プロジェクト）を議論し、4年度から継続して事業者主導のプロジェクトの創出・実証支援等を行いました。（全18件・消費行動7件、住まい7件、つながり4件）

5年度は、以下の4件のプロジェクトに対し、実証支援を行いました。

（実証段階に入ったプロジェクトは11件）

- ・ 四条通をサステナブルのシンボルへ
- ・ 菜食対応のメニューを提供する店舗の見える化
- ・ 環境負荷の見える化プロジェクト
- ・ 公園を活用したサーキュラーエコノミープロジェクト

6年度に向け、新たに5件のプロジェクトを創出しました。

- ・ Doプロジェクト（Do Repairs、Do Refill）
- ・ 賃貸住宅紹介時の省エネ・再エネ性能の見える化
- ・ 断熱性能を体験できる場づくり
- ・ アーバンファーミング
- ・ 地域での脱炭素コミュニティづくり

消費行動		住まい		つながり		
1	使用済衣服の回収&循環プロジェクト	A	1 つながりを感じられる住まいづくり（京都の冬は寒くないプロジェクト）	A	1 京都脱炭素ツーリズムのHUB創設	A
2	四条通をサステナブルのシンボルへ	A	2 賃貸マンションの再エネ電気切替促進	C	2 環境配慮型農業の実践	A
3	里山や地域循環について知る機会の創出	A	3 実証実験によるデータ収集・分析と発信	A	3 地域での生ごみ堆肥の活用推進	A
4	レスキュー野菜の地域での販売	A	4 住宅の省エネ・再エネ分を取引できる仕組み	C	4 公園を活用したサーキュラーエコノミープロジェクト	B
5	アートやデザインを活用したアップサイクルの実施	B	5 賃貸住宅紹介時の省エネ性能の見える化	C	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>A：実証済み B：検討中 C：未検討</p> </div>	
6	菜食対応のメニューを提供する店舗の見える化	B	6 断熱性能の良い家の体験の場づくり	A		
7	環境負荷の見える化	A	7 中古家電・家具2Rプラットフォーム	C		

(2) 市民ワークショップ等の開催(1305)

幅広い層の市民が参加できるよう、市内で開催される他団体主催の行事との連携などを図りながら、市内各地で多様な対象者を想定した市民ワークショップを6回開催しました。参加者を対象としたアンケートによると、全体の4割は脱炭素ライフスタイルに関する行動を実践しており、ワークショップに参加することでライフスタイルの転換に前向きとなった回答は77%を占めました。

◇市民ワークショップ

開催日	概要	場所	参加人数
6/3	<祇園祭ごみゼロ大作戦ボランティアリーダー対象> カードゲーム「2050カーボンニュートラル」体験会	ひとまち交流館	87人
7/14	<京都大学の大学生対象> 脱炭素ライフスタイルの転換を考えるワークショップ	京都大学	44人
9/30	<洛西高校の高校生と一般対象> カードゲーム「脱炭素まちづくりカレッジ」体験会	洛西高校	15人
10/8	<焚き火ボランティア対象> 脱炭素ライフスタイルの転換を考える作戦会議	ロームシアター京都	27人
11/1・1/17	<龍谷大学の大学生対象> DO YOU KYOTO? 2050 アイデアソン	龍谷大学	41人

2/12	<一般対象>伏見連続講座 「コーヒーと気候変動」	NAYAMACHI DONUTS 君に、 あげる	16人
------	-----------------------------	--------------------------------	-----

(3) 市民ライター育成事業(1306)

市民自らがライターとなって、脱炭素ライフスタイルに資する取組を発信いただくため、市民ライター育成のプログラムを実施しました。

10人の参加者は、京都の歴史や風土を活かし、地球環境に配慮しながらものづくりに取り組む京都の生産者2社を取材し、それぞれの視点で記事を作成しました。その記事は、京都市の脱炭素ライフスタイル推進事業公式ホームページ「2050 MAGAZINE」に掲載されています。

3 住宅の再エネ地産地消・地域循環推進事業(1307) ※京都市委託事業

住宅における太陽光発電設備等の設置によって生み出される環境価値を、国のJ-クレジット制度を活用し、カーボンニュートラルに取り組む市内企業等に売却して金銭価値化し、その収益を入会者のCO₂削減量に応じて市内の加盟店で利用可能な地域ポイント（さんさんポイント）で還元する仕組みを運営しました。

5年度は、京都再エネクラブの入会者が189人、導入支援ポイントの付与者が154人でした。また、令和4年度の入会者332人分のCO₂削減量103t-CO₂をクレジット化し、それを3事業者に合計312,000円で売却し、その収益を会員に還元しました。



4 京都0円ソーラープラットフォーム

(1) 住宅向け0円ソーラー(1503) ※京都府委託事業

(2) 太陽光発電プラットフォーム事業(1504) ※京都市委託事業

引き続き、「京都0円ソーラープラットフォーム」の運営を通じ、事業者と設置者等とのマッチングを行いました。5年度は、広く市民や子育て施設等で配布されている情報誌2誌へ記事型広告を掲載した他、イベント等への出展を4回実施、セミナー等への講師派遣を2回、複数のSNSを活用した広告発信など、幅広く広報活動を行い、

「京都0円ソーラープラットフォーム」経由で169件の見積依頼があり、前年度を上回る41件の契約が成立しました。

5 ごみ減量推進事業 ※京都市委託事業

(1) 普及啓発(1621)

ア 情報誌「ごみ日和」年4回発行済(96~99号)

号	特集	会員紹介	地域活動レポート	Hand in Hand (学生発レポート)	なごみ日和 ／もっぺん物語 ／ごみ減らし術
96号	京都市横大路学園	香老舗松栄堂	CoCo 白川(白川清掃)	黒米生まれの黒猫バーガー	miosai ピットイン本店 マヨネズ容器
97号	都ホテル京都八条	一般財団法人京都ユースホテル	岩倉川を守る会	着物帯を華やかにアップサイクル	ふるさとの自然を守りたい カメラの大川 ボロ靴下
98号	レポインターナショナル	村田機械	2R 分別リサイクル優良賞	FUB 博士(京都光華女子大学)	三谷左官店 クリーンマジック 割り箸
99号	Mame-eco プロジェクト Mame-eco&舩越農園	大和学園	トート de ピクニック	京の暮らしと京都の竹	布おむつデビュー 宮川時計店 Refill

イ ごみ減量啓発イベント

令和2年度以降、市ごみ減量めぐるくん推進友の会と同志社大学政策学部小谷ゼミとの協働で動画を制作し、オンライン発信等を実施しています。11月5日には「ととのふマルシェ」内で衣類ロス为主题に、さをり織りのワークショップを実施しました。

また、めぐるくん推進友の会と連携し、当センターやさすてな京都はじめ市内イベントを12回出展しました。

【出展イベント】

	開催日	イベント名(会場)	出展内容	人数
1	4/1	京都さくらよさこい(岡崎公園)	衣類ロス削減啓発・さをり織WS	15人
2	4/2	京都さくらよさこい(岡崎公園)	衣類ロス削減啓発・さをり織WS	28人
3	4/22	アースデイ in 京都(岡崎公園)	衣類ロス削減啓発・さをり織WS	63人
4	4/23	アースデイ in 京都(岡崎公園)	衣類ロス削減啓発・さをり織WS	61人
5	10/2~31	食品ロス削減月間啓発展示(市役所本庁舎)	食品ロスにかかるポスター、チラシ掲示	—
6	11/5	ととのふマルシェ(本法寺)	衣類ロス削減啓発・さをり織WS	13人

7	11/5	どんぐりまつり (宝ヶ池公園こどもの楽園)	タヒロン紹介	17人
8	11/26	秋のごみ減量エコバスツアー (当センター)	衣類ロス削減啓発・ さをり織WS	5人
9	1/21	さすてな京都	衣類ロス削減啓発・ さをり織WS	32人
10	1/28	冬のごみ減量エコバスツアー (当センター)	衣類ロス削減啓発・ さをり織WS	11人
11	2/3	京都環境フェスティバル (京都パルスプラザ京都)	衣類ロス削減啓発・ さをり織WS リチウムイオン	36人 31人
12	2/11	さすてな京都	衣類ロス削減啓発・ さをり織WS	29人
		出展数計 12回	合計	341人

ウ ごみ減量実践講座の開催

企業向け3回、こども向け4回、市民向け5回実施しました。

	開催日及び内容	参加者数
企業向け	・「紙の資源循環を知る」～大津板紙 製紙工場～(1/16)	28人
	・「ごみの焼却後を知る」～大阪湾フェニックスセンター～ (2/21)	17人
	・「バイオ燃料 新時代へ レポインターナショナルの挑戦」(2/15) ・週刊循環経済新聞 (No.1671) 掲載	35人
こども向け	・あづま袋ワークショップ (養正児童館) (6/12)	36人
	・あづま袋ワークショップ (京進の学童保育 HOPPA) (7/25)	10人
	・あづま袋ワークショップ (塔南の園児童館) (8/7)	57人
	・あづま袋ワークショップ (北総合支援学校) (10/25)	8人
市民向け講座	・生ごみコンポスト学習会「コープ自然派」(7/31)	4組 10人
	・生ごみコンポスト学習会「ツカジダこどもまつり 2023 (世界倉庫)」 (11/25)	18人
	・生ごみコンポストセミナー「京田辺市 環境セミナー (京田辺市役所ホール)」(12/20)	81人
	・「回そう資源、描こう未来～あれもこれも！資源として使い続ける社会へ～」講演会 イオン株式会社 (2/24)	49人
	・「資源物のリサイクル中間処理施設見学会」バスツアー京都市横大路学園・京都市南部資源リサイクルセンター (2/26)	24人
講座実施回数 12回		参加人数 373人

(2) ごみ減量事業化(1622)

ア 再生紙推進(めぐレット)事業

コロナ禍等により収集運搬業務が一時休止となっており、令和5年度も引き続き未実施となりました。早期再開に向けて学乳パックの洗浄方法等の見直しを教育委員会と鋭意検討しています。

【めぐレット・リサイクルルート】

各学校で児童・生徒が飲用した学校給食の牛乳パックを洗浄したものを収集し、古紙問屋で中間処理のうえ、製紙メーカーにて再資源化を行います。再資源化された再生パルプを原料の一部に使用したトイレットペーパーめぐレットを製造し流通させています。

学校→廃棄物収集運搬業者→古紙問屋組合→製紙メーカー→紙卸問屋→小売店舗

イ 堆肥化事業

- ・ 生ごみコンポスト取組支援として、メルマガ配信やメールでの対応により伴走支援するとともに、すでに取り組みされている団体に向けたセミナーを開催しました。
 - 「超かんたん！生ごみコンポスト2023」
日々のコンポスト作業伴走のための情報発信を8月～12月期間中に13回発信(週1回程度)し、開始時、中間時、終了時の3回アンケートを実施
 - 生ごみコンポストセミナー
 - ・ コープ自然派組合員向けセミナー(7/31)
 - ・ 使い捨て時代を考える会主催こどもまつり出展(11/25)
 - ・ 京田辺市環境セミナーで生ごみコンポスト紹介(12/20)
 - 落ち葉堆肥化の取組支援として作業が軽減できる資材「タヒロンガーデバッグ」を紹介、地域ごみ減や公園管理に携わる市民団体や構内に樹木がある事業者等を対象に案内しました。
 - イベントでの啓発
現物の展示やレクチャーを実施しました。
 - ・ どんぐり祭り(宝ヶ池)(11/5)
 - ・ ツカジダこどもまつり(使い捨て時代を考える会他)(11/25)

ウ 端材活用事業

「事業者等から提供を受けた端材を、こども達の創作あそびに活用する取組」の仕組みづくりを構築するとともに、活用した端材の行方を学んでもらう場を提供しました。また、端材を使ったこども達の創作あそびと環境学習を、市民団体と連携しながら進めました。

【活動状況】

- 児童館ワークショップ
 - ・ 養正児童館(8/7)
 - ・ まちづくりプラザ(9/30)
 - ・ 同心児童館(3/25)
- ワークショップ
 - ・ こども科学博(みやこめっせ)(8/4～6)

- ・ ガタゴト（阪急洛西口高架下広場）（9/30）
- その他
 - こども達の創作あそびに、端材活用への関心を高めることを目的に関係機関へ働きを行いました。
 - ・ （公社）児童館学童連盟へ取組説明（10/18）
 - ・ （公社）児童館学童連盟直営8児童館へ令和6年度実施ワークショップの案内（12/5）

（3）地域活動(1623)

ア 地域ごみ減設置状況

199団体（令和6年3月31日現在）

中京区、東山区、山科区、南区はすべての学区で設立

イ 各行政区地域ごみ減会議総会やイベント等への支援

昨年度までは、コロナ禍により各行政区の地域ごみ減総会を開催せず、書面での対応等に代えて実施したところも、令和5年度は5月29日の右京区から順次総会を開催し、山科区を除く全ての行政区（11行政区）で実施しました。

また、コロナ禍により中止が続いていた各行政区のイベント（ふれあいまつり等）が再開となり、イベントへのブース出展にも積極的に参加していただきました。

行政区全体での取組が実施されていないところでも、総会では来年度に向けた活動計画について活発な議論が交わされました。

○ 行政区単位の取組一覧

- ・ 北 区 総会 7/29
活動 「北区ふれあいまつり」11/12
ごみ減活動紹介及び環境啓発
- ・ 上京区 総会 10/29
活動 「上京区民まつり」10/29
ごみ減活動紹介及び環境啓発
- ・ 左京区 総会 6/29
活動 「左京ふれあいごみ減ECOフェスタ2024」3/9
古着及び陶磁器製食器の無料リユース会
- ・ 中京区 総会 7/14
活動 「中京ふれあいまつり」10/29
リユース食器担当
- ・ 東山区 総会 11/30
活動 「もっぺん陶器東山」（主催 東山エコまち主催）に参加
「エコクッキング」2/23日（華頂女子大学主催）に参加
- ・ 山科区 総会 1月に書面にて決議
活動 「ふれあいまつり」11/23
ごみ減量啓発及びアンケート実施

- ・下京区 総会 6/14
※イベント実施なく活動なし
- ・南 区 総会 6/17
※イベント実施なく活動なし
- ・右京区 総会 5/29
活動 「右京区民文化交流会（ふれいまつり）」10/28
右京エコまちと合同でゴミ減量啓発活動を実施
- ・西京区 総会 9/12
※イベント実施なく活動なし
- ・伏見区 総会 6/5
活動 「エ〜コと伏見2024」 3/17
フリーマーケット、環境啓発ブースでの学習及び工作など

ウ 市内小学校への環境学習会開催

下京区エコまちステーションとの協働により4年生を対象に環境学習会を開催しました。

- ・光徳小学校(下京区) (2/19) で開催
市のごみ収集から分別・リサイクル、焼却、埋め立てまでの流れを学習
パッカー車への積み込み体験実施

(4) 2R型エコタウン構築事業(1624)

ア 2Rひとつづくり事業

昨年度実施した「スーパーマーケットのプラ使用等調査」の報告・学習会について、以下のとおり7回(地域ごみ減3団体、市民団体1団体、大学・学生団体3団体)実施しました。

普段意識していない買い物で、視点を変えれば新しい気づきがあり、意識し選択・行動できることが多くあることを伝えると共に、周りに発信いただくよう呼びかけました。

開催日	実施団体	会場	参加者数
10/6	(北区) 京都産業大学 経営学部	京都産業大学	25人
10/12	(北区) 立命館大学産業社会学部	立命館大学	55人
10/21	(左京区) くるん京都	すみれや	6人
10/21	(伏見区) 久我の杜自治連合会地域 ごみ減量推進会議	神川出張所	33人
10/28	(上京区) 西陣地域 ごみ減量推進会議	旧西陣小学校 「茶房はとりべ」	19人

10/28	(西京区) 福西地域ごみ 減量推進会議	福西会館	5人
11/14	(左京区) エコ〜るど京大	京都大学	3人
			合計 146人

イ 2R文化発信事業

「スーパーマーケット環境調査」(お店のプラスチック調査)の実施

市民生活で用いるプラスチックのうち、多くの市民が日常の生活資材を得る場であるスーパーマーケット店頭でのプラスチックの使い方を市民が調査し、プラスチック利用の現状や、資源循環等につながる好事例を見つけ出すことを目的に実施しました。

○対象店舗 京都市内のスーパーマーケット 13店舗

○協力いただいたスーパーマーケット 11事業所 13店舗

ダイエー、京都生協、サンディ、フレンドマート、万代、マツモト、西友、フレスコ、いかりライクス、パントリー、コーヨー

○調査参加者数 以下の団体から 42人参加

京都市ごみ減量めぐるくん推進友の会、新婦人の会、くるん京都、エコ〜るど京大、環境市民

ウ 2Rサービス紹介事業

2R型サービス(修理・中古品流通)を提供する店舗を紹介する「もっぺん」ウェブサイト の啓発と、登録店舗の協力を得て、その利用を促進する取組を行いました。

※登録店舗数 206店舗

○登録店舗によるブース出展等の啓発

① パタゴニア主催イベントでのポスター掲示

日 時： 6/8～6/20

場 所： パタゴニア京都

② 「トート de ピクニック」(主催トートまちづくり隊)もっぺん出張所の実施

日 時： 1/14

場 所： トートひろば(阪急洛西口駅の高架下にあるまちづくり拠点)

出 展： 5店舗(応募 6店舗) イトイ工房(革製品)、BOOTSHELL(靴)、
上手楽器(楽器)、京都お母さんの繕い物の会(衣類)、人形修理
ネットワーク 福田匠庵(日本人形)

② 「ギフトショー」(主催 ビジネスガイド社)でのもっぺん出張所の実施

日 時： 3/6～7

場 所： みやこめっせ

出 展： 4店舗(応募 8店舗)

6日： 革修理京都本店(革製品)、ドレスショップ椿姫(着物)

7日： 京の黒染屋五代目終屋新七(黒染め)、家具クリニック(家具)

③ その他

- ・「循環フェス」(11/12/梅小路公園)にて、もっぺんポスター掲示
- ・「エ〜コと伏見」(3/17/伏見区役所)にて、もっぺんポスター掲示
- ・京都市(資源循環推進課)からエレンマッカーサー財団へ提出した会議用資料に、もっぺんの取組について掲載

【4】講師派遣事業

講師派遣・講座の企画実施(セミナー・研修・イベント等)(1401)

セミナーやシンポジウムに職員を派遣し、環境学習施設運営や市民参画・ボランティアコーディネーションについての講演や事例発表を行いました。

依頼元の要望にあわせた出前講座やワークショップの企画実施などを通して、他団体による環境活動を支援しました。

開催日	派遣事業名	主催
11/13	令和5年度 環境教育実践センター公開講演会	京都教育大学環境教育実践センター
4/22	アースデイ in 京都「これからの環境教育について」トークセッション	一般社団法人 KYOTOGRAPHIE
5/5	「自然と動物のつながりや共存について考えるワークショップ」	一般社団法人 KYOTOGRAPHIE
5/25	近畿農林水産関連企業環境対策協議会セミナー「協創を軸とした環境対策の生み出し方」	近畿農林水産関連企業環境対策協議会
5/27	「2023年再エネ・省エネ講演会」	NPO法人市民共同発電をひろげる城陽の会
6/26	NPO法人「集めて使うリサイクル協会」情報交流会	NPO法人集めて使うリサイクル協会
7/14	2023年度 JICA 課題別研修「エネルギーの高効率利用と省エネの推進(C)」	一般財団法人 省エネルギーセンター
7/17	東梅逕学区「エコ研修会」	東梅逕自治連合会東梅逕ごみ減量推進会議
7/26	令和5年度京都市立高校グローバルリーダー育成研修	京都市教育委員会
7/31	小学生を対象とした段ボールコンポストセミナー	コープ自然派京都
8/26	「食品ロスとごみ減量 講座」	くらしの省エネ活動推進協議会
8/28	令和5年度若者参画による環境学習プログラム推進事業「学生サポーター集中研修」	関西広域連合 広域環境保全局
9/23	「第48期 ボランティアコーディネーター養成講座 新任ボランティアコーディネーター基礎研修」	日本ボランティアコーディネーター協会
10/23	2023年度 JICA 課題別研修「海洋ごみ対策のための廃棄物管理(B)」	公益財団法人国際環境技術移転センター
10/28	滋賀県社会的課題解決プロジェクト(棚田ハウス編)学生ワークショップ	滋賀県商工観光労働部商工政策課
11/6	JICA 草の根技術協力事業「京都における環境活動への住民の巻き込みについて」	ひょうご環境創造協会
12/4	2023年度課題別研修「博物館とコミュニティ開発」	国立民族学博物館

12/20	京田辺市環境セミナー	京田辺市経済環境部 環境課
1/28	大阪府食品ロス削減ボランティア「もったいないやん活動隊」養成講座	一般財団法人環境事業協会
2/28	JICA 課題別研修「海洋ごみ対策のための廃棄物管理(B)」コース	一般財団法人日本環境衛生センター

【5】調査・研究・開発・発信事業

1 脱炭素の見える化(1309) ※地球環境基金助成金事業

市民が脱炭素ライフスタイルを具体的にイメージし、その行動がどれくらい効果を発揮するのを実感できるようにするため、地球環境基金助成金（令和4年度から6年度）を活用し、市民行動の実態やどのような要因が行動変容に影響を及ぼすか調査し、継続的に把握できるようにしながらその成果を活用します。さらに、市民や事業者から脱炭素ライフスタイルに関する体験やビジネス情報等を発信することで、脱炭素化が進んでいくための仕組みを構築します。

令和5年度は、脱炭素ライフスタイル見える化検討会を1回開催しました。食や農業に関する脱炭素ライフスタイルの取組を実践して発信する「京都農業サポーター」のイベントを計11回開催し、延べ59人が参加しました。また、令和4年度に実施したアンケート調査を日本環境教育学会で発表し、アンケート調査の結果について PR TIMES や当協会のHPでプレスリリースを発信しました。令和5年度にもアンケート調査を実施し、脱炭素ライフスタイルの行動実践の変化の傾向を分析しました。さらに、当協会のInstagramで継続的な情報発信を行い、京創ミーティングのプロジェクトや京都農業サポーターの短編動画を作成しました。

2 調査・研究・開発・発信(1501) ※自主事業

学会等での発表、研究会・実行委員会等への参画

実施日	事業名	主催
8/26～ 27	日本環境教育学会第34回大会 「京都市における脱炭素ライフスタイル行動の実態と行動変容の阻害要因」 「マレーシアにおける脱炭素社会実現に向けた環境教育・環境保全活動の実践」	日本環境教育学会
通年	京都未来門プロジェクト実行委員会への参画	国立環境研究所
通年	ボランティアコーディネーション力検定試験委員	日本ボランティアコーディネーター協会

3 自主財源創出プロジェクト(1513) ※自主事業

プロジェクトにおいて、収益事業化の可能性の高いものとして“未利用バイオマス（間伐材、放置竹林等）を原料にバイオ炭を製造し、このバイオ炭が持つ機能を活かした環境教育プログラムや社会貢献活動などの企画を事業者へ提案することで協賛

金を得る事業”を選定し、事業化に向けた検討を優先して進め、事業化案（「未利用バイオマス有効活用推進事業」）を取りまとめました。

4 きょうと環境活動応援事業(1521) ※自主事業

ごみ減量×福祉×地域緑化をつなげるプロジェクト※協賛金事業

廃棄消防ホースで作ったプランター35個を下京区内の小中学校や高齢者福祉施設など11か所に設置しました。

5 ごみ減量推進事業 会費等を活用した自主事業(1625) ※自主事業

記念事業の実施に向けて検討を行いました。

6 京のアジェンダ21フォーラム事業 ※自主事業

(1) 観光のエコ化の推進(1704)

スタート時から継続的に参画し、10年目を迎えた祇園祭ごみゼロ大作戦の中で、祇園祭山鉦の駒形提灯の電源として、再エネ由来の電力契約を行っている近隣の4店舗で充電したポータブル電源を使用する取組を行い、前祭、後祭それぞれ1つずつの計2つの山鉦で実現しました。また、その際にポータブル電源を提供していただいたメーカーと協力し、梅小路公園「朱雀の庭」での紅葉ライトアップの電源の一部として、太陽光パネルとポータブル電源を使用しました。

(2) 会費等を活用した自主事業(1708)

K E S登録事業所が京都で希少となった植物を育成するなどの生物多様性保全活動をネットワークとして進める「K E Sエコロジカルネットワーク」の事務局を担いました。

また、共同開発した京都市版SDGsボードゲームでは、共同開発者や旅行会社と連携し、市外からの修学旅行のプログラムとして活用できるよう、京都市内での訪問先情報を集めるなどの協力を行いました。

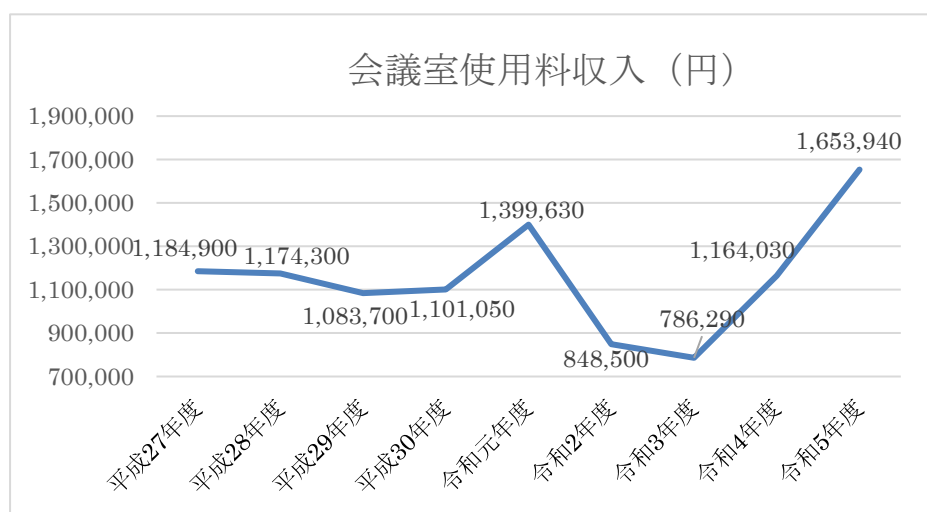
(3) わきの山の利活用(1709) ※夏原 Grant 助成金事業

京都市立明德小学校の学校林である「わきの山」において、2011年より京のアジェンダ21フォーラム京都環境コミュニティ活動（KESC）として、明德小学校、明德小学校学校運営協議会、および地域企業等を中心に里山保全活動を行ってきました。

令和4年度より夏原 Grant 助成金を活用し、令和5年度はきょうと生物多様性センターと協力し、わきの山のゾーニングに基づく作業を進めながら、学校、地域住民、周辺企業等へのヒアリングを行うことで、わきの山の持続可能な里山利活用の形を検討しました。

II 収益事業

貸館事業 (5101)



III その他事業 (相互扶助等事業)

秘密書類リサイクル事業 (6101)

- ・ 禁忌品混入防止、過積載防止について、引き続き啓発を行いました。
- ・ 企業向け講座で、搬入先である「大津板紙株式会社」の見学会を実施しました。
- ・ 参加事業所数 162 団体 (令和6年3月末現在)

2023 年度回収実績

(kg)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80,540	91,080	84,250	74,780	79,760	74,060

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
58,050	51,690	70,120	57,430	70,230	58,150	850,140

(参考) 前年度合計 884,430 kg (前年度比 96.1%)

IV 附属明細書

2023 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2024 年 5 月

公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会

～一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（抄）～

第 34 条 事業報告

3 事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。